もっと知りたい 武者小路実篤

実篤、欧米へ行く 7ヶ月16日間の旅

1936（昭和11）年、武者小路実篤は51歳の時に生涯に一度きりとなる欧米（ヨーロッパとアメリカのこと）を旅行しました。気軽に海外へ行けなかった時代、それは一大決心の旅でした。

実篤が使った白山丸の乗船チケット

イギリスからアメリカまで乗ったハンブルク・アメリカ・ライン

行き、横浜からマルセイユまで乗った白山丸

帰り、サンフランシスコから横浜まで乗った浅間丸

4月27日	横浜（日本）
5月5日	中国
7日	台湾
9日	中国
14日	シンガポール
15日	マレーシア
20日	スリランカ
27日	イエメン
31日	エジプト
6月6日	フランス
10日	ドイツ
7月22日	オランダ
25日	ドイツ
26日	デンマーク
27日	ノルウェー
29日	スウェーデン
8月1日	ドイツ
22日	オーストリア
26日	ハンガリー
28日	オーストリア
29日	チェコ
	ドイツ
9月15日	スイス
20日	イタリア
10月12日	フランス
11月1日	イギリス
14日	アメリカ
12月12日	横浜（日本）

＊現在の国名・地域名で表記しています。

この頃、欧米と日本をつなぐのは船だけ。横浜を出港して帰国するまでの7ヶ月16日間（229泊）で、50都市を巡りました。

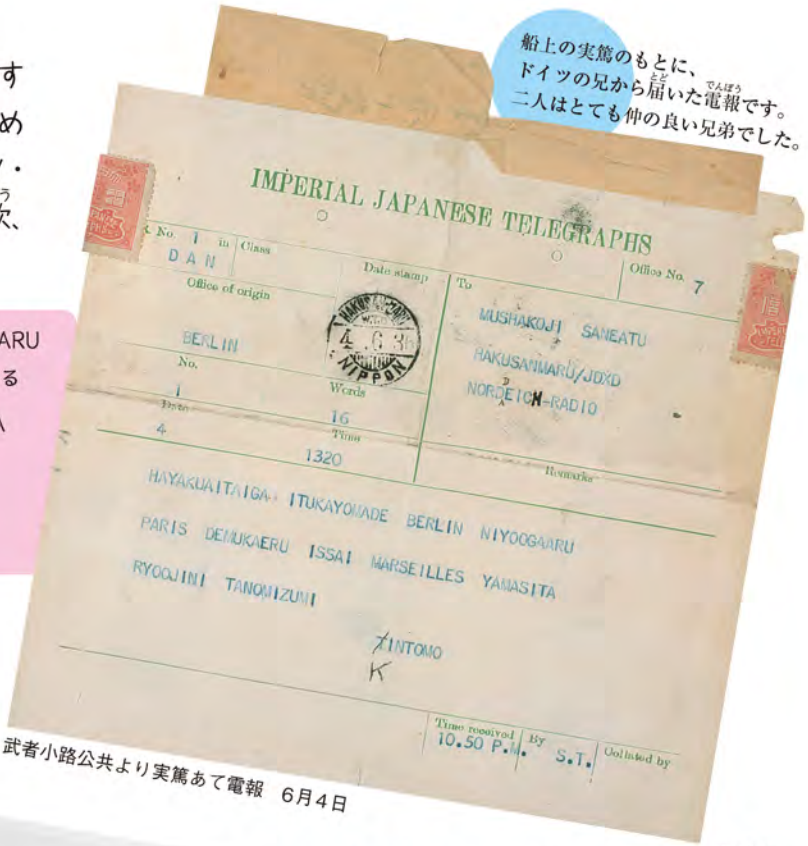
最初は欧米旅行に乗り気ではなかった実篤ですが、駐ドイツ日本大使であった兄・公共のすすめで渡航を決意しました。ヨーロッパではドイツ・ベルリンにある兄の家に泊まり、オランダや北欧、オーストリアにも足をのばしました。

HAYAKUAITAIGA　ITUKAYOMADE　BERLIN　NIYOOGAARU
早く会いたいが　五日夜まで　ベルリン　に用がある

PARIS　DEMUKAERU　ISSAI　MARSEILLES　YAMASITA
パリ　で迎える　一切　マルセイユ　山下

RYOOJINI　TANOMIZUMI　KINTOMO
領事に　頼み済み　公共

船上の実篤のもとに、ドイツの兄から届いた電報です。二人はとても仲の良い兄弟でした。


IMPERIAL JAPANESE TELEGRAPHS
Telegram No. 1 in Class DAN
Office of origin BERLIN
Date stamp
Office No. 7
To MUSHAKOJI SANEATU
HAKUSANMARU/JOXD
NORDEICH-RADIO
No. 1
Words 16
Date 4
Time 1320
Remarks
HAYAKUAITAIGA ITUKAYOMADE BERLIN NIYOOGAARU
PARIS DEMUKAERU ISSAI MARSEILLES YAMASITA
RYOOJINI TANOMIZUMI
KINTOMO
K
Time received 10.50 P.M. By S.T. Collated by

武者小路公共より実篤あて電報　6月4日

デンマーク・クロンボー城

ノルウェー・オスロの渡し船に乗る

実篤が洋服を着たのは、学生時代の制服とこの旅だけ。いつも和服で過ごしていたので、初めて背広を仕立て、ネクタイの結び方も覚えました。

僕は和服を着ると…たもとになんでも入れてすましている。さがしものをする時も簡単だ。処が洋服で汽車の切符をさがそうと思うと大変だ。駅を出る時、それで僕は閉口した。それで僕はポケットの多い事の便利と不便を感じた…。　　――「一人の男」113章より

普段は風呂敷で荷物を持ち歩いていたので、慣れないカバンにも苦労し、忘れ物をしないよういつも気をつけていました。

欧米で持ち歩いた名刺には「Saneatsu Mushakoji」とあり、「むしゃのこうじ」ではなく「むしゃこうじ」と名乗っていたことが分かります。

発行日／令和2年7月18日　企画・発行／一般財団法人 調布市武者小路実篤記念館　〒182-0003 東京都調布市若葉町1-8-30　TEL.03-3326-0648
デザイン・レイアウト／今井三樹男　イラスト／矢口由美子　印刷／半七写真印刷工業株式会社